
短編 3

三木拓矢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

短編3

【Nコード】

N7448N

【作者名】

三木拓矢

【あらすじ】

キスというのは人と人とのスキンシップにとっても必要な行為だ。

外国の、しかも英国紳士の国イギリスでは……………

キスという行為は人と人とのスキンシップにとっても必要な行為だ。外国の、しかも英国紳士の国イギリスでは挨拶にもキスをするという。

ただ唇を重ね合わせる事に一見して意味を持っていない、別に握手とかでもいんじゃないかね？とか思うだろうがそうではないのだ。

握手とは所詮手と手を合わせる行為だがキスというのはそれだけはない。

キスをするには余程その人を想っていないとほならない。想い合っていてこそ出ることだ。

つまり逆を言うならその人にキスをしたいと思うことはそれほど相手を想っている、そういうことだ。

「つまり？」

「キスをしよう！」

「あなた、馬鹿ね」

「そんなに褒めるなって」

「……」

「どしたよ急に？」

「それはこっちの台詞」

「いやあ今日君誕生日じゃん。誕プレ」

「……それをして嬉しいのはあなたよね？」

「あら？君は嬉しくない？」

「……………」

「……………」

「嬉しいから……………」

「ん？」

「嬉しいから、困ってるのよ」

「……ごめん、今の時代ツンデレは流行らないんじゃない？」

「ばか——！」

「ぐはぁ——！」

(後書き)

なんだこりゃ。

書いてみた感想その1。

なんつー阿呆さ。

僕、君は馬鹿なのかい？と思わずにはいられない……。

感想くれたら嬉しいなー

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7448n/>

短編 3

2010年10月10日02時45分発行